

事務事業 No./名称	■サービス部門 景観-09 緑地維持管理事業 □支援部門						
主管課	公園海浜課	関連課					
分野名	みどり						
目標 (目標値)	緑地を適正に管理することにより、緑豊かな都市づくりを目指す。						
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人			
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	38,153	35,754	37,672			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	38,153	35,754	37,672			
	人員配置数	1.5	2.0	2.6			
	人件費(千円)	12,774	18,071	24,440			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費(千円)	50,927	53,825	62,440			
	市民1人当 りの経費(円)	287	305	352			
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	対象者1人 当りの経費(円)						
	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。											
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。											
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止									
緑地維持管理事業	38,153千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	市所有の緑地を適正に維持管理する。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)									
H22年度の課題	緑地に隣接する住宅等の日常生活への影響に配慮した危険木の枝払い、伐採等に業務が終始し、樹林を適正に維持するための管理ができない。								
課題解決のための取組	緑地への要望は多種多様であるため、そのつど現地を確認し、緊急度に応じて臨機応変に処理するようこころがけた。								
未解決の課題	広葉樹林、針葉樹林、竹林など林層に応じた維持管理ができていない。								
今後の方針	緑地の機能を充実できるような維持管理に努める。								
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	A	※ □事業完了	課長名	公園海浜課課長代理 石山 由夫			

